

令和6年度東京都ジュニア柔道体重別選手権大会
(兼、JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 東京都予選会) 要項

- 1 主 催 公益財団法人東京都柔道連盟
- 2 日 時 令和6年7月7日(日) 開場 8時00分(予定) 開会式 9時30分
- 3 会 場 東京武道館 足立区綾瀬 3-20-1 TEL 03-5697-2111
- 4 参加資格
 - (1) 日本国籍を有し、令和6年6月10日までに、東京都に在住・勤務・在学のいずれかにより、東京都柔道連盟を通して、全日本柔道連盟に登録を行っている者。
 - (2) 平成16(2004)年1月1日以降、平成21(2009)年12月31日以前の出生者
※令和6(2024)年中に15歳～20歳になる者。 但し、男子中学生は出場不可。
 - (3) 選手は初段以上の者。但し、女子中学生はこの限りではない。
 - (4) 体重区分

男子 7 階級						
60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級	100kg級	100kg超級
女子 7 階級						
48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	78kg級	78kg超級
- 5 参加人数
 - (1) 男子
 - ① 23区および、三多摩柔道会は、各2名以内。
警視庁・皇宮警察・学柔連・高体連に所属している者は地区からは出場できない。
 - ② 警視庁・皇宮警察は、各5名以内。
 - ③ 実柔連は、5名以内。
 - ④ 学柔連は、2023年度第72回東京学生柔道優勝大会(R5.5/28)の成績により、上位16校
(東海大学/日本大学/日本体育大学/明治大学/國學院大学/早稲田大学/法政大学/
国土舘大学/専修大学/慶應義塾大学/東洋大学/帝京大学/順天堂大学/東京農業大学/
中央大学/駒澤大学/) (順不同) は14名以内。但し、1階級は3名以内。
その他の大学は7名以内。但し、1階級は3名以内。
 - ⑤ 高体連は、東京都高体連柔道部が推薦し、参加基準を満たしたものとする。
参加基準：高校総体・高校選手権・関東大会 各予選会ベスト8以上
 - ⑥ 令和5年度の全日本ジュニア柔道体重別選手権大会出場者は、同階級にエントリーした場合に限り、別枠で出場できる。
 - (2) 女子
 - ① 警視庁、実柔連、学柔連、高体連に所属してない有段者は24地区から参加できる。
参加人数の制限はないものとする。
 - ② 高校生は、東京都高体連柔道部が推薦した有段者であること。
 - ③ 中学生は、東京都中体連柔道部が推薦し、なおかつ、親の承諾書が提出された選手で、主催者が認めた者に限る。
- 6 試合方法
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
 - (2) 試合時間は4分間。優勢勝ちの判定基準は「技有」とし、規定時間の終了時にスコアがない、もしくは同等の場合は時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア方式）により勝敗を決する。
 - (3) 試合は、体重別各階級ごとに、トーナメント戦とする。
敗者復活戦は行わない。但し、出場選手決定戦及び補欠決定戦を行う。
- 7 表 彰 男子・女子とも各階級の優勝者・準優勝者・第3位を表彰する。
但し、申込人数により変更する場合がある。
- 8 参加申込
 - (1) 申込期間 5月23日(木)～6月10日(月)
 - (2) 申込方法 都柔連ホームページより所定の申込書をダウンロードし、メールに添付して提出。申込用アドレス：moshikomi@tojuren.or.jp
※申込書はPDF等にせず、Excelデータのまま送付のこと。
都柔連より申込完了メールを送信します。ドメイン設定を行っている場合は「@tojuren.or.jp」を受信設定してください。
 - (3) 参加費 男女共1人 4,000円
支払方法 大会当日、請求書をお渡しします。指定口座にお振込みください。

(4) 問合せ先 (公財)東京都柔道連盟

TEL 03-3818-5639 / メール tojuren@tojuren.or.jp

9 組 合 せ 男女共、6月13日(木) 東京都柔道連盟事務所で行う。

出場選手所属団体関係者の出席は不要。関係者以外立入禁止。

- 10 保 険
- (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。尚、万一の事故の発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたておくこと。
 - (2) 大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
 - (3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。

- 11 そ の 他
- (1) 2024年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会(男女共)への出場者
 - ① 男子・女子とも、2023年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会の各階級優勝者は、今年度の年齢条件を満たしている者に限り、推薦で同階級に出場できる。
 - ② 東京都代表選手として出場できる人数は下表の通りとする。

男子

階 級	60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級	100kg級	100kg超級	合計
出場枠	4名	4名	4名	4名	4名	4名	5名	29名

女子

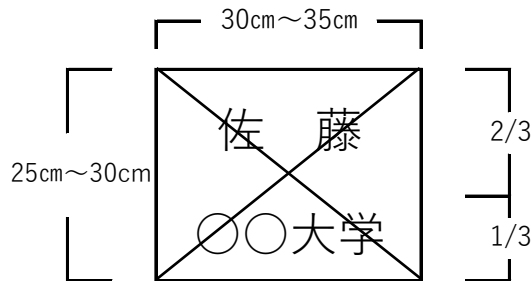
階 級	48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	78kg級	78kg超級	合計
出場枠	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	21名

- ④ 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会出場者は全柔連指定柔道衣を着用すること。
- (2) 公式計量は、下記日程で超級を含め全階級実施する
 - ① 令和6年7月6日(土) 17時30分～19時30分
 - ② 男子：講道館 新館2階 教室 他 / 女子：講道館 本館3階 第1会議室なお、非公式計量は、17時00分～17時30分とする。
- (3) 大会を欠場する選手は、必ず医師または柔道整復師の診断書を主催者に提出するものとし、無届の欠場者は次年度の出場資格を失うものとする。
- (4) 観客について ※「打込相手」を含む
 - ① リストバンドの着用
東京武道館の入場者数制限により人数を限定する。
出場選手1名につき、3名までの入館を認める。当日、申込団体にリストバンドを配布する。入館時及び館内で、必ず身に付けていること。紛失した場合は入場できない。
 - ② 「打込相手」は、観客席の他、(1)開会式前の大武道場、(2)第一武道場に入ることができる。
- (5) マスクの着用は任意とするが、各自健康に十分に留意すること。
- (6) 脳震盪対応について
選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (7) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (8) 出場選手の柔道衣・帯は、予選会につき認証柔道衣以外のものでも認める。

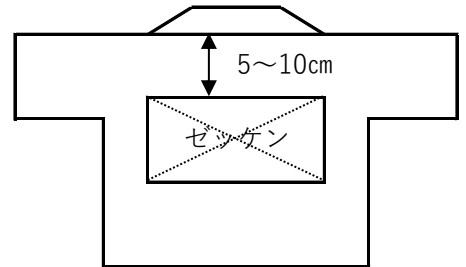
- (9) 参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
所属名は、全日本柔道連盟に登録した団体名とし、広告付きゼッケンは不可とする。
ゼッケンを取付けていない選手は、出場できない。
なお、ゼッケンの仕様と縫い付け方は下記の通りとする。

- ① サイズは、横30cm～35cm・縦25cm～30cm
- ② 布地は白色（晒・太綾）
- ③ 書体は太いゴシック体又は楷書で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色。
- ④ 苗字（姓）は上側2/3、所属名は下側1/3
- ⑤ 縫付の位置は、後ろ襟から5cm～10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付ける。

<図1>ゼッケンの縫い付け方



<図2>ゼッケンの縫い付け位置



- (10) 監督・コーチは、審判員に準じた服装(Yシャツ・ネクタイ・スラックス)を基本とする。
女性はブラウス等でも可。また、ネクタイは不要。
- (11) 個人情報、肖像権の取り扱いについて
下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱い致します。
参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・大会ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。
大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。